

寅さん歩 その 15

江戸・東京(23 区)の百名山-10

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていましたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。NHKBS放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。(平成 28 年 9 月 22 日放映終了) 4 年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区 44.6m の箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い 23 区順に紹介します。今回は四番目に多い台東区の 7 山です。

数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

〔台東区〕

58. 摺鉢山

上野恩賜公園内 最寄駅 山手線 上野駅

上野恩賜公園全域が「上野のお山」と呼ばれていますが、「上野山」はありません。東京文化会館裏の正岡子規記念野球場・公園管理所隣に標高 24.5m の「摺鉢山」があります。正面上り口の説明板には「その形状が摺鉢を伏せた姿に似ているところから名付けられた。ここから弥生式土器、埴輪の破片が出土し、約千五百年前の前方後円形式の古墳と考えられている。丘上はかつての「五條天神」、「清水観音

堂」の鎮座の地であったが、寛永寺根本中堂建立で現在地に移転している。丘上は休憩所になっているが、昔のまま、摺鉢の形を保っている」と記載。丘上のベンチにはすでに先客が朝寝を楽しんでいました。



正面上り口(他に 2 か所の上り口あり)

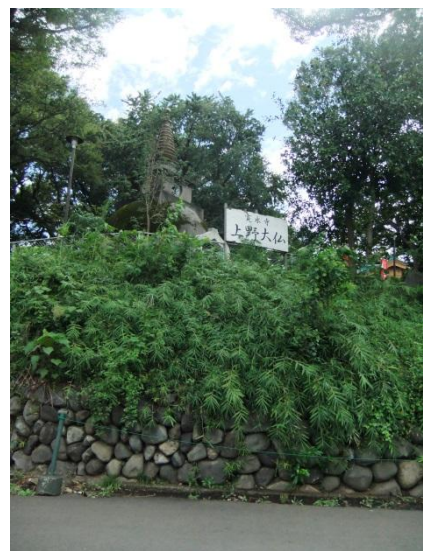


丘上

59. 大仏山

上野恩賜公園内 最寄駅 山手線 上野駅

桜並木の道を挟んで「大仏山」があります。「上野大仏」は寛永 8 年（1631 年）**越後の国 村上城主 堀丹波守直寄**が自邸内のこの地の高台に戦乱に倒れた敵味方の将兵の冥福を祈るため「土」で釈迦如来像を造立とのこと。明暦・万治の頃（1655 年～1660 年）「銅佛」に改められ、その後、露座の「仏殿」も建立された。関東大震災で**佛頭が落ち**、寛永寺にて保管、その後、**佛体は解体**され、第二次世界大戦時に献納された。昭和 47 年（1972 年）春彼岸、尊顔を再び旧地に迎え祀った。「もうこれ以上落ちない合格大仏」と受験生に人気があるとか。



写真上左は正面上り口、右は上野精養軒側の裏手。
写真下左は山頂に並ぶ上野大仏と写真右のパコダ（仏塔）



上野恩賜公園の桜は寅さん歩 その5-2 東京の桜
2014-1 を参照ください。

60. 真土山

浅草7丁目 待乳山聖天

最寄駅 東京メトロ銀座線/都営浅草線 浅草駅

隅田川西岸の小高い丘、標高約9.8m。浅草寺観音出現前に一夜にして小山が出来、金龍が舞い下り、6年後の大かんばんつに「大聖歓喜尊天」の姿で天下万民を救い、鎮座したとの言い伝えがあります。写真下左は上り口、右は山頂にある「待乳聖天本堂」です





写真上左の本堂脇に上る、広重が画いた「天狗坂」(正面階段)は閉鎖で上れず、左脇にミニモノレールがありました。写真上右は「江戸の名残の築地塀」です。

「本来の土の山」だから「真土山」だと、この地に生まれた作家池波正太郎氏は作品の中で頑固に「真土山」の名を使用しているとのこと。二股大根と巾着のシンボルは、夫婦和合と商売繁盛のご利益があるとのこと。



寅次郎、お正月の「大根祭り」で振舞う「ふろ吹き大根」を食べに来ています。寅さん歩 その11 江戸・東京の祭-12(江戸らしい祭-5)を参照ください。

61. 人造富士

浅草1丁目 ROXビル辺り

最寄駅 東京メトロ銀座線/都営浅草線 浅草駅

明治20年(1887年)に木骨石灰を塗り込めた張りぼての約30mの人造富士山を造り、らせん状の登山路を設け、頂上を展望台にしてひと儲けをたくらむ人がいましたが、当てが外れ、2年半で取り壊されたとのこと。

場所は写真下の現在のROXビル辺り(国際通りと六区ブロードウェイの間)とのこと。寅次郎、初めて知りました。



62. 弁天山

浅草 2 丁目 浅草寺境内 弁天堂辺り

最寄駅 東京メトロ銀座線/都営浅草線 浅草駅

浅草寺宝蔵門前を右折すると、「弁天堂・梵鐘」があります。説明板によると『弁天山と呼ばれる小丘の上に立つ弁天堂は昭和 58 年(1983 年)に再建。ご本尊は白髪のため「老女弁財天」と言い、「関東三弁天」の一つで小田原北条氏の信仰が篤かった。境内の鐘楼の鐘は元禄 5 年(1692 年) 5 代将軍綱吉公改鑄の江戸時代の「時の鐘」として芭蕉の句で有名。現在も毎朝 6 時に役僧が撞き鳴らし、大みそかには「除夜の鐘」が点打される』と記載。脇や後ろに回ると「弁天山」の高さが分かります。



63. 浅草富士

浅草5丁目 浅間神社

最寄駅 東京メトロ銀座線/都営浅草線 浅草駅

観音裏から、言問通りを横断し、直進すると「浅間神社」です。浅間神社社殿手前右に「浅草富士」があるのを知りました（平成9・10年に神社の改修工事があったとのこと）



「浅草のお富士さん」と親しまれたお山（写真下左）は右側の登山口が5合目で、左側が下山口です。山頂には祠（写真下右）があり、寅次郎、もちろん登頂しました。写真下左の真ん中の黒びかりの石は「子授け石」と表示、お願いのやり方をあれこれと想像した寅次郎でした。

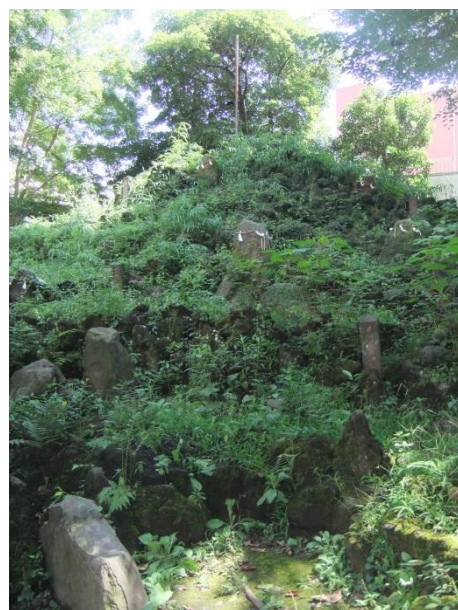


64. 下谷坂本富士

下谷2丁目13 小野照崎神社内

最寄駅 東京メトロ日比谷線 入谷駅

平安初期の漢学者・歌人として著名な小野篁が祭神の「小野照崎神社」の富士塚「下谷坂本富士」は原形保存状態が良好として、昭和54年(1979年)5月「国の重要有形民俗文化財」に指定されました。文正11年(1828年)築造、高さ約5m、直径約16m。国重要有形民俗文化財の富士塚はこの他に以降の章に登場の練馬区と豊島区にあります。



山開きの日は登山可能です。
寅次郎も上りました。
寅さん歩 その11 江戸・東京の祭-2
(江戸らしい祭-11)を参照ください。

【こぼれ話】 久米平内堂 (くめの へいない どう)

浅草寺宝蔵院(昔の仁王門)の手前右にあります。いつも人で混雑していない場所です。寅次郎、浅草寺内でお気に入りの場所です。



入口の説明板には『江戸時代前期の武士。その生涯は諸説あり、実像は明らかではない。平内堂には次の伝承がある。平内は剣術に秀でており、

多くの人を殺めてきた。後年、その供養のために、仁王坐禅の法を修業し、浅草寺内の金剛院に住み込んで禅に打ち込んだ。

臨終に臨み、自らの姿を石に刻ませ、埋め、多くの人に踏んでもらうことによって、犯した罪を償う為に、この像を人通りの多い仁王門付近に埋めたと伝わります。その後、石像はお堂に納められたとのこと。

「踏み付け」が「文付け」に転じ、願い文をお堂に納めると願い事が叶うとされ、江戸時代中期以降、特に縁結びの神として庶民の信頼を集めた。平内堂は昭和 20 年(1945 年)3 月の戦災で焼失したが、昭和 53 年（1978 年）の浅草寺開創千三百年記念で再建された』と記載。

「踏み付けて欲しいとの懺悔の気持ち」を「文付けという恋心の綺麗な言葉」に置き換えてしまう、江戸の人達の粋な計らいに感心した寅次郎です。

次回は江戸・東京（23 区）の百名山-11 です。

平野 寅次郎 拝